

## ロータリー財団奨学金プログラムについて 地区財団奨学金・平和フェロー委員会 委員長 瀧澤隆之介氏

### おそらく皆さんが知らない音楽の歴史

チェリスト 柏木広樹 氏

自己紹介:日本のチェリスト・作曲家・編曲家・音楽プロデューサー。東京都多摩市出身、佼成学園高等学校、東京藝術大学音楽学部器楽学科卒業。在学中の1989年に、G-クラブのメンバーとしてデビュー。1990年歌の無いインストゥルメンタル・バンドで初のNHK紅白歌合戦に出場。

今回はこのような素敵な会に呼んでいただき光栄に思っています。本日は「おそらく皆さんが知らない音楽の歴史」についてお話しさせていただこうと思います。硬い話のように聞こえますが中身は柔らかいです。日本人が思っているクラシックのイメージは固い、敷居が高いと思われています。何故そうなってしまったかと言うと、学校の先生の教えが芸術家のベートーヴェンですと紹介し、音楽を聞かせていたからではと思っています。音楽はそもそも生活の近くにあるもので、その人たちが歌声であったり、演奏であったりで感動したり、楽しくなったり、寂しくなったりというくらいに密着していないと音楽って楽しくないと思います。クラシック音楽とは今から300年くらい前までの音楽の事を言っています。

バッハとか、ビバルディ、ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンとか聞くと硬いと思われると思うのですがモーツァルトまでは実はパトロンに雇われて曲を作っていた。



ました。特にBGMが多いですね。貴族がご飯を食べている時に小粋な音楽を楽隊が弾くイメージです。これを改革したのがベートーヴェンなのですが、それが商業音楽の始まりとも言えます。一般ピープルに音楽を解放したとも言えますが、楽譜を出版したり、コンサートを行ったりして入場収入で暮らすということが始まります。同時にその頃はロックも演歌もジャズもありませんので、ベートーヴェンがポップスだったということになります。

この300年でド・レ・ミの音などは上がってきています。チューニングが上がると聴力が上がったり、また大きな音を出すために、オーケストラの人数が増えてきてさらにチューニングがあがり大勢の人が楽しめる音楽になる。これがポピュラーミュージックの極みなのです。このように音楽って元々こうなんだよと知って貰えるといいなと本日は話させていただきました。

今日はチェロを持って来ているので、芸能人格付け選手権風に、高い弓(まあまあの弓のウン十倍)とまあまあの弓(数十万円)で弾きますので聞き比べてみてください。聞き分けるのは非常に難しいですが、違いが分かり、どちらが好きかだけで、それも音楽の楽しみの一つとなります。パワフルとちょっとまるやかというのがお分かりいただけたかなと思います。最後にライブやコンサートに行った時にアーティスト同士が音で会話をしているのか、目で会話をしているのか見るのも音楽を楽しく見られる秘訣かなと思います。今日はこんなに素敵な場所を与えていただきありがとうございました。

■本日のロータリーソング  
我等の生業

2024-2025 年度国際ロータリーのテーマ  
「ロータリーのマジック」  
国際ロータリー会長:ステファニー A. アーチック

